

第4学年 社会科学習指導案

児童 男子13名 女子11名 合計24名
指導者 類 家 智 子

1 単元名 5 きょうどにつたわるねがい 3 ふるさとれきしまップ

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の目標(3)「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。」と、内容の(5)「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」の「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」を受けて設定したものである。

本単元では、地域に残る文化財や祭り、行事など歴史を伝えるものに気づくとともに、それらを通して人々が地域の暮らしをよりよくしようと願い、工夫・努力してきたことを理解させるようにする。

まず、生活の中にある歴史を伝えるものへの関心を高めさせるために、日頃から何気なく目にしているものや参加した行事などを想起させる。そうして、出された古いものを参考に、場所や調べたいものを話し合っ決めてさせ、地域に残る古いものについて調べようとする意欲を高めさせる。

地域の歴史探しに入る前に、調べるポイントをきちんと把握させ、実物を見たり、家の人や地域の人にインタビューするなどの活動に自主的に取り組めるようにする。その中で、地域に伝わるものには人々の思いや願いがあることに気づかせたい。

わかったことを表現する方法としては、個々に調べたカードをマップにまとめさせていく。

最後に、これから地域の歴史をどのように扱っていけばよいか考える場面を設け、一社会人としての資質を培う一助としたい。

(2) 児童について

ア 社会的事象への関心・意欲・態度

今までの社会の学習では、ごみの分別をしてみるとか実際に見学をするなどの体験学習にとっても意欲的に取り組んできた子どもたちである。それは発言やつぶやきのほか、一単位時間の学習の最後に感想を書かせると、ほとんどの子どもが分かったこと、感じたことを書き表すことができることからも見取ることができる。

ただ、自分が今後地域社会の一員としてどのようにすればよいかを考えたり、実際に実行にうつそうとしたりする子どもは少ない。そのことは又、自らの思いや願いを強くもって学習しているという点においても同様である。

イ 社会的な思考・判断

課題を解決しようと、予想を自分なりに立て、解決するような場を設定して学習を進めてきた。自分なりに生活経験等を基にして、予想を立てて考えることはできる子どもは多いが、悩んでしまう子どももいる。分かったことを書き表す際に、社会的事象のみならず、その背景にあるものに気づくには、教師の指導の工夫が必要である。

ウ 観察・資料活用の技能・表現

子どもたちは、資料が大好きである。写真、実物、グラフ、表・・・いろいろな資料を興味深く見つめている。こうした資料のもつ意味を考え、的確に調べ学習に役立てる能力も育ってきている子どもたちもいる。ただし、地図記号及び地図など、基礎・基本的学習事項については、何度も繰り返し約束事確かめ、正しく読み取れるよう指導する必要がある。

エ 社会的事象についての知識・理解

分かったことをノートにしっかりまとめることにより、大切なことを覚えている子どもが多い。しかし、例えばある社会事象に関して、他に自分からのメッセージを発信しようとする際、自主的かつ的確に理解した知識を取捨選択し、使おうとする子どもは少ない。

(3) 指導について

ア 世界とのかかわり

わたしたちの身の回りや地域で何気なく目にしているもの、参加した行事などを想起させるために、映像や写真を提示し、話し合わせる学習場面を設ける。

その中で出てきた文化財や祭りについて整理し、何について調べるかを決めさせ、グループを作る。実際に見聞できる石切所地区を中心に調べるので、考えられるのは下記のようなグループである。

石碑 祭り 神楽や踊り 自然(男神・女神・大崩崖) など

その際、最後に調べたことを発表する中で、これから自分たちにできることはないかを考えさせる学習へとつなげていくことを確認する。

イ 自分とのかかわり

学習計画に基づいて調べていくが、その際の調べるポイントを下記のように明確に設定し、小さなカードに書き込ませる。

- ・ 見つけた歴史の名前
- ・ 場所
- ・ いつごろからのものか
- ・ 絵や写真
- ・ インタビュー(人々の願いや思い)

そうして調べたあとには、必ず調べ学習に対する振り返りとして自分の感想を持たせる。

ウ 友達とのかかわり

自分で調べたことをグループ内で出し合い、歴史マップにまとめていく作業の中では、地域の歴史の再発見ができる。たくさんの地域の歴史に気づかせ、そのよさに浸らせたい。

また、それらの歴史にふれ、初めて分かったことやもっと知りたいことなどを交流させたい。

3 単元指導目標

- (1) 歴史を伝えるものを見つけ出したり調べたりすることを通して、人々がどのような願いや思いを持って暮らしていたかについて考えることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 地域に残る文化財や祭り、行事などに込められている人々の願いや、今の生活がこれまでの多くの人の工夫や願いが集まって出来上がっていることについて考えることができる。(社会的思考・判断)
- (3) 地域に残る文化財や祭り、行事などについて調べ、まとめることができる。(観察・表現・資料活用の技能)
- (4) 地域には、古くから残る様々な文化財や祭り、行事などがあり、それらは多くの人々によって大切に伝えられていることを理解する。(知識・理解)

4 指導計画と評価規準（7時間）

時期	小 単 元 名	学 習 活 動	評 価 規 準
世界 自分	れきしマップ を作ろう (2時間)	1 家の近所や学校の周りで目にしたもの、参加したことがある祭りなどを想起して、発表する。 2 出し合った古いものを参考に、場所や調べたいものを話し合っ て決める。また、歴史発見メモの書き方について確認する。	・日頃から何気なく目 にしているものや参加 した行事などを想起し て、積極的に発言がで きる。 (関) 発言 ・地域に残る古い物につ いて自分なりに整理す ることができる。 (思) 観察・ノート
自分	ふるさとのれき しさがし (3時間)	1 文化財や祭り、行事を調べる活動 の計画を確認する。 2 現地に行って調べたり、家の人に 聞いて調査したりする。 3 わかったことを歴史発見メモに まとめる。	・調べるポイントをき ちんと把握し、意欲的 に調べることができる。(関) れきし発 見メモ 地域に伝わるもの には、人々の思いや願 いがあることを知り、 歴史発見メモにまと めることができる。(知) れきし発見メモ
友達 世界	ふるさとれき史 マップ完成 (2時間) 本時2/2	1 調べてきたことを発表し、れきし マップをつくる。 2 ふるさとれきしマップや発表を 振り返り、地域にはた くさんの歴史があるこ とを理解し、学習のま とめをする。	・調べたことを工夫し て、れきしマップに表 現することができる。 (表) れきしマッ プ・発言 ・地域の文化財や行事 から昔の人がどのよう なことを願ってきたか を考察することができる。 また、それらが今でも 大切に伝えられている ことが分かる。(知) 観察・発言・ノート

6 本時の指導

(1) 目 標

- ・地域の文化財や行事から、昔の人がどのようなことを願ってきたかを考察することができる。
(社会的思考・判断)

(2) 展 開

段階	学習内容と活動	支援（ ）と評価（・）
つかむ	1 今日の学習活動を確認する。 「今日は、みなさんが調べてきたふるさとの歴史マップを発表しましょう。」	ふるさとれきしマップの発表会場はあらかじめ作っておき、発表会をすることを確認する。 ・ 歴史マップを発表するという意欲を持っているか（関） 観察・挙手
3分	2 課題を把握する。 「ふるさとに長く伝わるものには、人々のどんな思いや願いがこめられてきたのか考えながら発表を聞きましょう。」	地域の文化財や行事が伝わってきた背景には、昔の人々の思いや願いがあったことを確かめ、課題把握に結びつける。 ・ 今日の課題を把握できたか（関） 観察・発言 課題に対する予想を立てさせることにより、課題を解決しようとする見通しを持たせる。
広げる	3 歴史マップの発表会を行う。 ・ 石碑グループ ・ 祭りグループ ・ 神楽や踊りグループ ・ 自然グループ	それぞれのグループの発表に出てくる地域の文化財や祭りについて、人々の願いを考えさせるようカードに記入させる。 ・ 人々の願いを考えながら発表を聞いているか（思） 観察・カード
35分	4 ふるさとの歴史にこめられた人々の願いについて話し合う。 「それぞれの歴史から、ふるさとの人々はどのような思いや願いをもって生活していたのか話し合しましょう。」	カードをもとに、それぞれのグループ発表における歴史に込められた人々の願いをまとめていく。 ・ 昔の人々の願いや思いを考え、発表することができたか（思） 発表
まとめる	5 学習をふりかえる。 「今日の学習をふりかえて感想をまとめましょう。」	自分や友達の調べてきた昔のものについて、自分たちはどう思うか考えさせたい。 ・ 地域の文化財や祭りなどが今に至るまで大切に伝えられてきていることに気づく。（知） 感想
7分		

（3）評価

評価の観点	評価規準	努力を要する児童への手立て
社会的思考・判断	地域の文化財や行事には、昔の人々の思いや願いがこめられていると判断できている。	石碑やお祭りなどの値打ちは何か考えさせるようにする。また、当時の方が石碑やお祭りを、どういうふうにして作ったのか考えさせる。 ペア学習やグループ学習により、自分なりの考えを持つことができるように支援する。